



文部科学省後援 PDA 全国中学校・高校即興型英語ディベート合宿・大会 2023 報告書

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日程：2023 年 8 月 4 日（金）～5 日（土）

（1 日目）中学生：3 ラウンド、高校生：練習 3 ラウンド、予選 1

（2 日目）高校生：予選 2、予選 3、キーノートレクチャー、レクリエーション、準決勝、決勝

会場：Zoom にてリモート開催

主催：一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

後援：文部科学省

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協力：大阪公立大学



参加者数：中学生 97 名（14 校・28 チーム）、高校生 298 名（45 校・89 チーム）

中学校

（茨城県）清真学園高等学校・中学校、東洋大学附属牛久中学校（千葉県）翔凜中学校（東京都）品川女子学院中等部、獨協中学高等学校、東京都立大泉高等学校附属中学校、筑波大学附属中学校、（神奈川県）湘南白百合学園中学校、栄光学園中学校（愛知県）南山中学校女子部、大成中学校（兵庫県）神戸大学附属中等教育学校（岡山県）岡山県立岡山大安寺中等教育学校（徳島県）徳島県立城ノ内中等教育学校

高校

（岩手県）岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立一関第一高等学校（山形県）山形県立酒田西高等学校（茨城県）清真学園高等学校・中学校、東洋大学附属牛久高等学校（栃木県）宇都宮高等学校、栃木県立佐野高等学校、作新学院高等学校（千葉県）東邦大学付属東邦高等学校、翔凜高等学校、千葉県立船橋高等学校（東京都）品川女子学院高等部、獨協中学高等学校、山崎学園富士見高等学校、東京都立大泉高等学校（神奈川県）湘南白百合学園高等学校、神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校、神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立湘南高等学校、白鵬女子高等学校、栄光学園高等学校、聖光学院（福井県）福井県立藤島高等学校（長野県）長野県長野高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県屋代高等学校、長野県伊那北高等学校、長野県諏訪清陵高等学校（岐阜県）岐阜高等学校（三重県）三重県立四日市高等学校（京都府）京都府立嵯峨野高等学校（大阪府）大阪青凌高等学校、関西大倉高等学校（兵庫県）雲雀丘学園高等学校。神戸大学附属中等教育学校（広島県）ノートルダム清心中・高等学校（徳島県）徳島県立城ノ内中等教育学校、徳島県立徳島北高等学校（福岡県）福岡県立城南高等学校（熊本県）熊本県立人吉高等学校（鹿児島県）鹿児島中央高等学校、鹿児島県立鶴丸高等学校（沖縄県）沖縄県立前原高等学校、沖縄県立宮古高等学校（順不同）

開催趣旨：

〈中学生・高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生、PDA 認定教育ジャッジによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。また他校生徒との交流も深まります。初心者の方も歓迎です。高校生向けのプログラムでは、合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。

〈教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。2022 年度からの「論理・表現」をはじめ、授業に導入できる即興型英語ディベートの手法を知っていただく、また即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのセッションを 50 分としています。また、効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1 : After-school club activities in schools should be abolished.

（学校における放課後のクラブ活動は廃止すべきである。）

論題 2 : The number of AI-equipped surveillance cameras should be increased.

（AI を搭載した監視カメラの数を増やすべきである。）

論題 3 : Volunteer work in schools should be mandatory.

（学校でのボランティア活動を義務化すべきである。）

論題 4 : Japan should privatize prisons.

（日本は刑務所を民営化すべきである。）

論題 5 : Patriotism should be emphasized in compulsory education.

（義務教育課程で愛国心を強調すべきである。）

論題 6 : Scholarships should be granted based only on financial situation, not on academic performance.

（奨学金は、成績ではなく経済状況のみに応じて与えられるべきである。）

論題 7 : In elections, only those who pass aptitude tests should be eligible to vote.

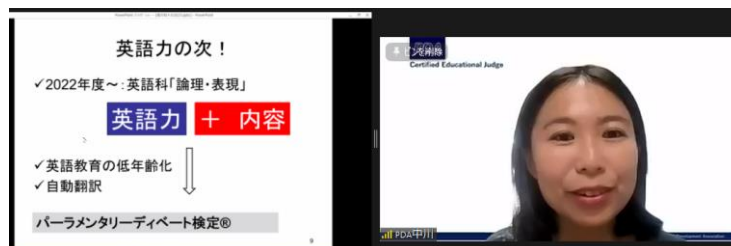
（選挙では、適正テストに合格した人のみ選挙権を持つべきである。）

論題 8 : In university entrance examinations, the ratio of comprehensive type selections (AO examinations) should be increased.

（大学入試では、総合型選抜（AO 入試）の比率を上げるべきである。）

1 日目

開会式では、まず今回の参加校が紹介されました。認定教育ジャッジの先生、スタッフの紹介、合宿スケジュールの確認、ルール諸注意を行いました。中学生・中学校教員の部、高校生の部（授業の部、課外活動の部 初心者、課外活動の部 一般）、高校教員の部（初心・一般、認定、受験）が同時進行で行われます。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰るシステムとなっています。



PDA 代表理事 中川智皓よりご挨拶



開会式の様子

中学生ラウンド1・高校生練習ラウンド1の論題は「学校におけるクラブ活動は廃止すべきである。」でした。教員の部ではラウンドをジャッジする先生、生徒の様子を見学する先生に分かれました。生徒たちはそれぞれの経験を参考にどのような議論ができるかブレーストシート（アイデア出しシート）にメモし、まとめていきました。ディベートが終了すると、他校の生徒と自己紹介をし、学校の様子やお互いの地元などについて語り合う姿が見られました。生徒にとっても身近な話題で、普段の生活から具体例を見つけてスピーチの中に取り入れる様子も見られました。



聖光 B VS 作新 D, 徳島北 B[ジャッジチーム]



相模原 B VS 屋代 D, 白鷗女子 A[ジャッジチーム] 伊那北 C VS 宇都宮 C, 酒田西[ジャッジチーム]



岐阜 C VS 長野 B, 相模原 D[ジャッジチーム]

中学生ラウンド2・高校生練習ラウンド2の論題は「AIを搭載した監視カメラの数を増やすべきである。」でした。犯罪の抑止やプライバシーの問題などの観点から、AIカメラの利点、欠点についての議論がありました。



ディベート後の交流の様子(伊那北 B VS 嵯峨野 C)

また、中高生と同じ論題で、中学教員や高校教員によるディベート実践も行われました。別の学校の教員とチームを組み、実際にディベートすることで生徒の感覚を掴んだり、ディベートのコツを掴んだりする機会となりました。



高校教員によるディベート実践

中学生ラウンド3・高校生練習ラウンド3の論題は「学校でのボランティア活動を義務化すべきである。」でした。ボランティア活動における当事者の自発的活動に依存するという性格から義務化はそぐわないのではないかとという視点やボランティアそれ自体のもたらす利益を重視する視点など多くの切り口から論題について考える様子が見られました。



中学・ディベート後の交流(清真 B VS 筑波 B・岡山大安寺 A)(神大附属 A VS 大成)

また、高校生練習ラウンド中は各テーブルで生徒にもジャッジ役を割り振り、他の生徒のディベートを聞いて客観的に勝敗を考える練習を行いました。ジャッジを初めて務めるという生徒もいましたが、事前に行ったジャッジレクチャーを参考にディベートを評価する体験は新鮮だった生徒も多かったようです。教員の部でもディベートが行われ、実際にディベーターを体験すると同時に、ジャッジの練習を行う機会が設けられました。

1 日目の最後は、高校生の部の予選 1 が行われました。予選 1 の論題は「日本は刑務所を民営化すべきである。」でした。練習ラウンドでディベーターやジャッジを務めた経験を活かし、活発な議論が行われました。諸外国の例も考慮に入れながら、民営化の是非について財政や治安など社会全体を広く見渡した議論が行われました。

高校生の部・教員の部で熱い議論が交わされる中、中学生の部の閉会式が行われました。閉会式では、ベストチーム賞、ベストディベーター賞、ベスト POI 賞の発表が行われ、受賞を喜び合い、健闘を称えました。



表彰式(中学生の部)



ベストディベーター賞・発表の瞬間



優勝チーム・神大附属 A

2 日目

2 日目は、各校の出欠確認の後、予選 2 が行われました。予選 2 の論題は「義務教育課程で愛国心を強調すべきである。」でした。「愛国心」がもたらす利益や害について分析して、スピーチを組み立てる様子が見られました。また、オンラインディベートにやや慣れてきたようで、積極的に POI を行う様子もみられました。



長野 C VS 屋代 B



長野 B VS 北陵 B



東洋牛久 VS 宇都宮 B



諏訪清陵 A VS 白鷗女子 B



作新 B VS 相模原 B



ノートルダム清心 VS 松本県ヶ丘

論題に関連して、福岡大学の縄田健悟准教授からキーノートレクチャーをいただきました。「愛国主義」と「国家主義」の違いなど混同しやすい概念についての説明もあり、大変に興味を引く内容でした。レクチャーに興味深く耳を傾け、積極的に質問する生徒たちの様子が見られました。

- これを踏まえて、どう主張するか？ 10
- 主張A. 愛国心は悪くない
→国家主義を適切に切り分けられ、悪くない。むしろ所属欲求の充足はよいもの。国の中では協力も生まれる。
 - 主張B. 愛国心は悪い
→一緒にくっついていがちな国家主義は外国嫌い、さらには戦争につながる。



福岡大学・縄田健悟准教授によるキーノートレクチャー

予選 3 の論題は「奨学金は成績ではなく経済状況のみに応じて与えられるべきである。」です。大学受験を控える高校生にとっては身近な話題であり、奨学金制度の現状を分析したうえで制度の目的やあるべき形についてスピーチを行う生徒の様子が見られました。



伊那北 VS 富士見



一関第一 B VS 岐阜 A

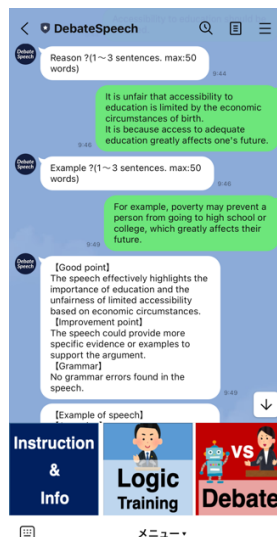


POI ! (盛岡第一 B VS 神大附属 A)



ディベート後の交流(徳島北 A VS 鹿児島中央)

昼食後には Zoom でのレクリエーション「チーム対抗！ディベスピバトル！」が行われました。グループごとにモーションを考え、ハイスコアを目指してスピーチを組み立てました。評価には、PDA の開発した AI を用いたディベートの訓練システム“DebateSpeech”を用いました。時間の制約から短い時間とはなってしまいましたが、和気あいあいと意見を交わす様子も見られました。



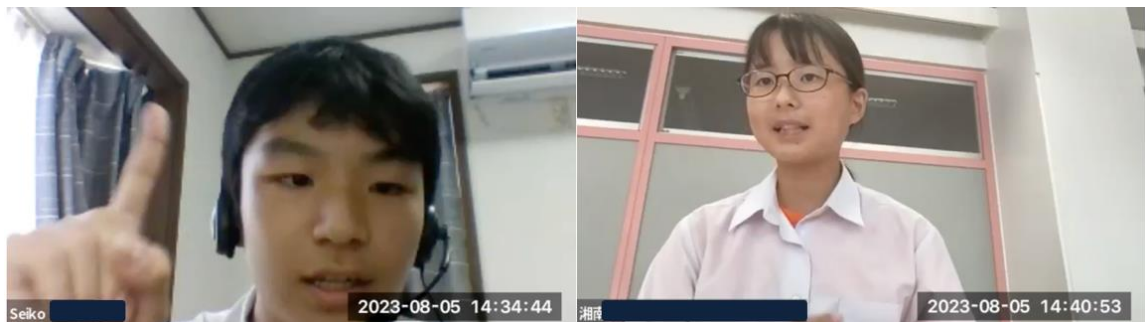
DebateSpeech では入力したスピーチ文に対してフィードバックが自動で送信されます

レクリエーションの後には、授業の部と課外活動の部（一般）の準決勝進出チーム及び課外活動の部（初心者）の決勝進出チームを発表しました。論題は「選挙では、適性テストに合格した人のみ選挙権を持つべきである。」です。珍しい論題ではありましたが、適性テスト導入のもたらす結果について、生徒たちは舌戦を繰り広げました。また、POIも活用して積極的に議論に参加する姿勢も見られました。



課外活動の部(初心者) 決勝戦(諏訪清陵 A VS 聖光 C)

最後は、授業の部と課外活動の部（一般）の決勝です。決勝戦の論題は「大学入試では、総合型選抜（AO 入試）の比率を上げるべきである。」です。多くの観客が見守る中、出場者たちは堂々とディベートを行い、この2日間の合宿の掉尾を飾るにふさわしい議論が交わされました。見学生徒もプレパレーションタイムに論題について考え、ラウンドが始まるとジャッジになって勝敗を出すつもりで観戦しました。



課外活動の部(一般) 決勝戦(聖光 A VS 湘南)



授業の部 決勝戦(作新 D VS 白鷗女子 B)

決勝戦の後、表彰式と閉会式が行われました。各部門の優勝者やベストディベータ賞やベスト POI 賞を受賞した代表者が「2 日間でたくさんディベートを実践することで成長できた。対戦チームやジャッジの皆さんに感謝したい。」と感想を述べました。



優勝チーム(作新 D・聖光 C・聖光 A)代表者の感想



ベストディベータ賞集合写真



ベスト POI 賞集合写真

結果

〈中学生の部〉

チーム賞

- 1 位：神戸大学附属中等教育学校 A
- 2 位：湘南白百合学園中学校 A
- 3 位：南山中学校女子部 A
- 4 位：東京都立大泉高等学校附属中学校 B
- 5 位：大成中学校
- 6 位：筑波大学附属中学校 A
- 7 位：神戸大学附属中等教育学校 B
- 8 位：徳島県立城ノ内中等教育学校
- 9 位：神戸大学附属中等教育学校 D
- 10 位：神戸大学附属中等教育学校 C

ベストディベーター賞※☆は 3 回選ばれた生徒

_____さん	筑波 A ☆
_____さん	神大附属 D ☆
_____さん	翔凜
_____さん	獨協 A
_____さん	大泉 B
_____さん	栄光 C
_____さん	湘南白百合 A
_____さん	大成
_____さん	神大附属 A
_____さん	神大附属 B
_____さん	徳島城ノ内

ベスト POI 賞※☆は 2 回選ばれた生徒

_____さん	神大附属 A ☆
_____さん	清真
_____さん	牛久 A
_____さん	翔凜
_____さん	品川女子 A
_____さん	大泉 B
_____さん	栄光 A
_____さん	南山 A
_____さん	南山 B
_____さん	南山 C
_____さん	神大附属 C
_____さん	徳島城ノ内

〈高校生の部〉

チーム賞（授業の部）

優勝： 作新学院高等学校 D

準優勝：白鵬女子高等学校 B

3 位：作新学院高等学校 C、白鵬女子高等学校 A

チーム賞（課外活動の部 初心者）

優勝： 聖光学院 C

準優勝：長野県諏訪清陵高等学校 A

チーム賞（課外活動の部 一般）

優勝： 聖光学院 A

準優勝：神奈川県立湘南高等学校

3 位： 福井県立藤島高等学校 B、徳島県立城ノ内中等教育学校 A

ベストディベーター賞（授業の部・課外活動の部初心者）※☆は 3 回選ばれた生徒

_____さん(一関第一 C) ☆	_____さん(長野 B)
_____さん(作新 C) ☆	_____さん(長野 C)
_____さん(酒田西)	_____さん(嵯峨野 B)
_____さん(牛久)	_____さん(嵯峨野 C)
_____さん(宇都宮 A)	_____さん(徳島北 B)
_____さん(相模原 B)	_____さん(作新 D)
_____さん(茅ヶ崎北陵 B)	_____さん(白鵬女子 A)
_____さん(聖光 B)	_____さん(大阪青凌)
_____さん(聖光 C)	_____さん(城ノ内 B)
_____さん(藤島 D)	_____さん(城南 B)
_____さん(屋代 B)	_____さん(諏訪清陵 B)
_____さん(諏訪清陵 A)	

ベストディベーター賞（課外活動の部 一般）※☆は 3 回選ばれた生徒

_____さん(清真) ☆	_____さん(藤島 A)
_____さん(伊那北 A) ☆	_____さん(藤島 A)
_____さん(盛岡第一 A)	_____さん(藤島 B)
_____さん(栄光)	_____さん(長野 A)
_____さん(湘南)	_____さん(神大附属 A)
_____さん(聖光 A)	_____さん(神大附属 B)
_____さん(柏陽 A)	_____さん(城ノ内 A)

ベスト POI 賞（授業の部・課外活動の部初心者）※☆は 3 回選ばれた生徒

_____さん(一関第一 C) ☆	_____さん(聖光 B)
_____さん(藤島 D) ☆	_____さん(聖光 C)
_____さん(作新 C) ☆	_____さん(伊那北 C)
_____さん(作新 D) ☆	_____さん(諏訪清陵 A)
_____さん(牛久)	_____さん(諏訪清陵 B)
_____さん(作新 B)	_____さん(岐阜 C)
_____さん(宇都宮 A)	_____さん(嵯峨野 A)
_____さん(佐野 A)	_____さん(嵯峨野 B)
_____さん(品川女子)	_____さん(船橋・四日市・雲雀丘 B)
_____さん(相模原 A)	_____さん(城南 C)
_____さん(茅ヶ崎北陵 B)	

ベスト POI 賞（課外活動の部 一般）※☆は 3 回選ばれた生徒

_____さん(盛岡第一 B) ☆	_____さん(獨協)
_____さん(柏陽 B) ☆	_____さん(湘南)
_____さん(屋代 A) ☆	_____さん(聖光 A)
_____さん(城ノ内 A) ☆	_____さん(長野 A)
_____さん(盛岡第一 A)	_____さん(神大附属 A)
_____さん(一関第一 A)	_____さん(神大附属 B)
_____さん(清真)	_____さん(徳島北 A)
_____さん(佐野 C)	

アンケート（抜粋）

生徒の声（中学生）

- 他行の方と交流し、英語、議論について楽しみながら学ぶことができた。（東京都立大泉高等学校附属中学校・3年）
- 学びが多くとても楽しかったです。（品川女子学院中等部・3年）
- 沢山のディベートのやり方がそれぞれにあって面白かった。（徳島県立城ノ内中等教育学校・3年）
- 他校の人と一緒にディベートをしたり、ジャッジの方のアドバイスがためになった。（品川女子学院中等部・2年）
- 日々の練習での力を発揮することができてすごい楽しかったです。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- 楽しみながら英語を向上できるし、いろいろな学校の人と関われるのがよかったです。（東京都立大泉高等学校附属中学校・3年）
- ジャッジの方が的確なアドバイスをくださり、今後に向けた新たな目標を作ることができたと思いました。motion も大変興味深かったです。（南山中学校女子部・3年）
- 去年からの二回目の夏合宿でしたが、他の高校と交流したり、ディベートの改善点をジャッジの方に言ってもらえて良い経験になって楽しかったです！（岡山県立岡山大安寺中等教育学校・2年）
- はじめてでしたが、すごく楽しくでき、また、いろいろな学びがあったので、非常に参加して良かったと思っています。また参加したいです！また、もっと英語力をのばして、他の大会などにも出られたら出てみたいです！（清真学園高等学校・中学校・2年）
- 自分の英語力のなさを実感でき、自分の重点的に勉強しすべき点を理解できた。また、他校の方と気軽に話せてとても楽しかった。いい経験になった。（東京都立大泉高等学校附属中学校・3年）
- 今回たくさんの色々な学校と関わることが出来、とても楽しく有意義な時間になりました！ありがとうございます。（南山中学校女子部・3年）
- 今日1日だけでも試合を重ねるごとに成長できたと思うので良かったです。（筑波大学附属中学校・2年）
- 去年度の夏合宿で戦わせていただいたお相手に、またお会いできて嬉しかったです！（大成中学校・3年）
- とても実りのある大会だった。来年もぜひ参加したいと思う。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- とても楽しかったです！来年も参加したいです！（神戸大学附属中等教育学校・2年）
- 初めての大会で、ベストディベーター賞をいただけて嬉しかったです。フィードバックもいただけて、自分の成長につながったと思います。ありがとうございました。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- 他校と交流して、色々なことを知ることができ、良かった。（湘南白百合学園中学校・3年）
- 初めての大会で勝手が分からなかったが自分の言いたいことが結構言えて楽しかった。また、POI も初めてだったが結構投げられることも受けることもできて良かった。 ジャッジコメントの前に相手校と論題について話したり雑談できたのもいい経験になった。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- 様々な学校と交流することができて、貴重な経験を得ることができた。（栄光学園中学校・3年）

教員の声（中学校）

- とてもよい経験になりました。役員の方、いろいろありがとうございました。
- 他校との交流を、生徒たちが楽しそうにしていた。
- 表彰が多くて、特に中学生に自信を持たせるために良かったと思います。
- 初めての参加でしたが、大変勉強になりました。全くの初心者ながらすぐに試合のジャッジに入り、不安も多い中でしたが、メインジャッジの先生がジャッジされている様子を拝見し、特にフィードバックのコメントでは大変参考になり、今後の授業活動につなげていきたいと思います。カメラ越しではありましたが、参加している生徒がイキイキとスピーチしている姿が大変印象的でした。 また、教員ラウ

ンドでは、普段使っていない脳を機能させたような感覚で、「知のスポーツ」と呼ばれる所以が少し理解できたような気がします。また機会がありまして参加させていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

生徒の声（高校生）

- あまり外部の方々とディベートの試合をする機会がなかったので、このような場を設けて頂いたことをとても嬉しく思いました。（山崎学園富士見高等学校・2年）
- 大会ということで、とても緊張感を持って真剣に取り組むことができました。初めて会う人とやったことのない論題でディベートをして、考えが深まり、知識も増えたので、とても自分のためになったと思います。とても楽しかったです。（京都府立嵯峨野高等学校・1年）
- 初めて参加しましたが、九州の方の学校と対戦したりして、学びが大きくとても楽しかったです。（岩手県立一関第一高等学校・1年）
- ディベート大会自体、たくさんは参加したことがなく、一試合、1試合とても緊張したが、レベルの高いディベーターのみなさんと議論できたことは自分の能力を上げることに大いに役立った。（清真学園高等学校・2年）
- どのジャッジの方々もとても丁寧に改善点、良いところを伝えてくださり、嬉しかったです。（栃木県立佐野高等学校・2年）
- 参加がしやすく、日頃の学習では出来ない非常に高密度な2日間でした。とても楽しかったです。ありがとうございました。（三重県立四日市高等学校・1年生）
- キーノートレクチャーがわかりやすかった。（長野県伊那北高等学校・2年）
- 夏休みを利用した二日間のディベート試合は密度が濃く大きな経験を与えてくれました。参加して良かったと思います。（神戸大学附属中等教育学校・2年）
- 楽しかった。キーノートレクチャーを毎回やって欲しい。（長野県伊那北高等学校・2年）
- とても実りある経験になりました。沢山の対戦校さんとの交流やジャッジの先生方の意見を参考に今後もディベート活動を頑張っていきたいと感じました。ありがとうございました。（翔凜高等学校・2年）
- 色々な人とディベートが出来て楽しかった。たくさんの視点から物事をみることができ、勉強になった。（徳島県立徳島北高等学校・1年）
- 自分の考えた論を、仲間と協力して組み立てて貰ったり、逆に仲間の反論を助けたりするのがチームスポーツであることを感じて楽しかったです。（長野県屋代高等学校・1年）
- 二日間で質の高い6試合もすることができて勉強になった。フィードバックで改善点を洗い出して次に繋げることができる大会でよかった。（福井県立藤島高等学校・2年）
- めちゃくちゃ楽しかったです。ディベートを何回もすることで英語を使う回数が増え、英語能力が上がったと思います。ありがとうございました！（作新学院高等学校・2年）
- 相手校がすごく強くて感動した。いろいろなところと交流できて楽しい。いろいろな社会問題についても考えることができて嬉しい。（岐阜県立岐阜高等学校・2年）
- 即興型ディベートではその場での対応力が問われるため、難しかったが、ジャッジの方々、対戦校の方々からたくさんの改善点を見つけることが出来たため、とてもためになった。（翔凜高等学校・2年）
- 今回の大会を通して、貴重な体験をたくさんすることができました。自分たちの良い点と至らない点を確認することができました。今回の大会で得た経験をこれからの練習に活かしていきます。（福井県立藤島高等学校・2年）
- とても楽しかったです。初めて本格的に他校とディベートを行うことができてとても充実した時間になりました。ありがとうございました。（神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校・1年）
- はじめて大きな大会にして、上手にできて嬉しかったり、もっとこういえればという悔しさもあって、今後のモチベーションにつながりました。（岩手県立一関第一高等学校・1年）

- 本当にためになり、自分のディベートに対する意識の向上につながる機会をくださりありがとうございました。（山崎学園富士見高等学校・1年）
- いつもと対戦相手とできた上にいつもよりたくさん一日に試合できたので楽しかった。（神奈川県立柏陽高等学校・1年）
- 他校と対戦することで自分がこれからどれだけ頑張って練習しないといけないかということがわかって、頑張りたいという気持ちがもっと出てきました。（雲雀丘学園高等学校・1年）
- それぞれのディベートで学んだことをすぐに次のラウンドで実践できる(実践しようとトライできる)ので、成長できたと思います。（長野県屋代高等学校・2年）
- 自分の高校だけでディベートをしていると、どうしても視野が狭くなったり自身のスピーチも固定化してしまうが、大会を通して、自分のスピーチの足りていない部分や、正しいと思っていたスピーチの仕方もあることが出来、大会の良さを感じた。（福井県立藤島高等学校・2年）
- 他県の高校生とディベートを通して交流できてうれしかったのと、単純に「英語で第三者を説得させる」ということが新鮮でとても楽しかったから。（ノートルダム清心中・高等学校・1年）

教員の声（高校）

- 様々な学校の論の立て方や日頃の努力が垣間見れました。またジャッジの良い経験になりました。
- 初めてジャッジを体験しコメントしたためいい経験になりました。
- 大会運営、お疲れ様でした。これだけのチームの大会運営は大変だと思いますが、地方の学校でも、数多くの全国の高校生と交流する機会が持てたことは有り難かったです。ありがとうございました。生徒にとっても、教員にとっても、たいへん有意義な経験になったと思います。
- たくさんの高校生のディベートをジャッジすることで、日頃の自分の授業をどのように改善すべきかとのヒントを得ることができました。また自分のコメント力の低さに気づき、自己課題も見つかりました。生徒たちは、他校生と交流したり、ディベートさせていただき、とても楽しそうでした。
- 生徒たちのモチベーションアップにつながる機会になりました。

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

以上

写真



岩手県立盛岡第一高等学校



岩手県立一関第一高等学校



作新学院高等学校 C チーム・D チーム



神奈川県立柏陽高等学校



神奈川県立湘南高等学校



長野県屋代高等学校



栃木県立佐野高等学校



栄光学園高等学校ベストディベーター



福井県立藤島高等学校



ノートルダム清心中・高等学校